



東日本大震災関連

3 7 23 26

14年アフガン終戦確認

5 NATOはアフガンでの戦闘任務を14年末までに終了、治安権限の完全移譲を確認。

消防団員にエア胴衣950着

26 津波から消防団員らを守るエアジャケット配備へ。高知市と南国市。全国に先駆け950着。

子どもの居場所奪うな

27 大阪市で子どもたちの最後の駆け込み寺になってきた「子どもの家」が存続の危機に。

3 がれき広域処理量4割減

5 NATO戦術核削減検討

7 関電が家庭節電新料金

23 北米に大量がれき到達か

25 希少植物の里山生かさう

26 金環日食 列島各地で歓声

27 ネットにTV不正視聴法

19 20 読もっかこども高知新聞

発行所 高知新聞社
高知市本町3丁目2-15
088-822-2111 780-8572
© 高知新聞社 2012

南海地震の津波や水害時、救助活動に当たる消防団員らの装備として、高知市消防局と南国市消防本部は空気で膨らむエアジャケット(瞬間膨張防護服)を導入する。エアジャケットは、高所作業者らの防護用に使われているが、災害救助用に導入するのは全国で初めて。
東日本大震災の津波で救助活動中の消防団員が多数犠牲になったことから、両市は「団員の命を守って初めて市民の命を守ることができる」と安全装備の充実に着手。南国市消防本部は6月末までに139着、高知市消防本部は年内に810着を配備する。

津波救助 エア胴衣で

高知市、南国市 消防が全国初



エアジャケットの使い方を学ぶ消防関係者 (高知市布師田)

このエアジャケットは、風船アタックから二酸化炭素などを製造している千葉が入って膨らむ。水に浮た。県の会社が開発。腰のレクだけでなく、流木など

の衝撃から首や脊椎などをを守る。

発泡スチロール入りの救命胴衣と違い、必要な時だけ膨らませることができ、陸上活動の際も邪魔にならないという。

両市の消防団などは21日、高知市布師田の国分川河川敷で80人が参加して、合同講習会を開催。人が溺れたとの想定で救助のデモンストレーションも行った。

南国市消防本部総務課消防団係の宮本範和さんは「楽に浮くことができるし、多少の漂流物が当たっても大丈夫そう。さまざまな用途で使えるのではないかと話している。

(笹島康仁)